様式2

平成29年8月24日

平成29年度　評価計画及び自己評価

（ 計画 ・中間・ 最終 ）

広南中学校区　校番　2　学校名　　呉市立広南中学校

a　学校教育目標	〈広南学園〉 未来を創る 「誇りを持って故里を語り，受け継ぎ，発展を担う志と力を育てる教育の創造」	b　経営理念 ミッション・ビジョン	〈ミッション〉 （学校の使命）	大きな夢と志を持ち， 社会に貢献する人材を育成する
			〈ビジョン〉 （将来の学校像）	○深い学びの精神と感謝の気持ち，社会貢献への気概をもつ児童生徒を育て，地域から信頼される学校 ○地域文化の拠点として地域の活性化に貢献する学校

c　中期経営目標を踏まえた現状（進捗状況）と今年度の重点	「学びの変革」パイロット校の指定を受け，3年目を迎える。これまで，パイロット校として，課題発見・解決学習の単元開発に留まらず，次期学習指導要領の方向性を踏まえた教育の具現化をめざし，教育目標および教育内容および教師の指導力の改善をすすめていきた。今年度はこれまでの研究の成果を「＋1」を合い言葉にさらに改善を加えるとともに，小中一貫教育の中での「学びの変革」の姿を明らかにし，それを内外に発信することで，パイロット校としての使命を果たしたい。
育成すべき資質・能力	挑戦・探究　責任・使命　感謝・貢献　協力・協働　知識・技能　情報収集・判断　思考・表現

評価計画（中期経営目標を設定してから　1　・　2　・　③　年目）						自己評価					
重点	d 中期（3年間）経営目標	e 短期（今年度）経営目標	f　目標達成のための方策（こんなことをして達成します）	g　指標（効果を見とる目安）	h 目標値	9　月			2　月		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
★★★ 確かな学力の育成	貫 義務教育9年間を見通した学力を育成する	「課題発見・解決学習」を手がかりとした授業改善	・「貫きカリキュラム」による開発単元のブラッシュアップ ・Sルーブリックの活用	生活と学習に関するアンケートの「課題発見・解決学習」の肯定的評価	80%	87%	109%	A			
		読書活動の充実	・読書貯金の継続 ・ビブリオトークの継続 ・教師によるブックトーク活動	生活と学習に関するアンケート「読書習慣」の項目の肯定的評価	70%	69%	99%	B			
★★ 豊かな心健やかな体の育成	礼節と挑戦心を身につけ，体力づくりに主体的に取組む生徒を育成する	相手を大切にする礼節を誇る学園の校風の確立	・生活ルーブリックの活用 ・3つの約束・5つの合い言葉による小中一貫指導の徹底 ・課題発見・解決型生徒指導の充実	・生徒目標「4項目」に係る教師のA評定以上の割合	85%	74%	87%	B			
		体力の向上	・「体力ONEUPPROJECT」による主体的な体力向上の推進	・個人内目標を達成した生徒の割合	80%	71%	89%	B			
		挑戦心の高揚	・「勇気づける声かけ」の実践 ・資格習得「トリプル3」 ・表彰等の活用	・生徒アンケート「挑戦意欲」に係る肯定的評価 ・資格習得への挑戦者数（小中で70名）	80%	91%	114%	A			
★ 信頼される学校	貫 地域に貢献し活力を生み出す学校をつくる	生徒の地域貢献の達成感	・総合的な学習の時間での地域貢献活動PROJECT ・ボランティア活動の充実	・生徒アンケート「地域に貢献した」肯定的評価の割合	95%	96%	101%	A			
		保護者参加の機会の充実及び学校教育への参画意識の高揚	・土・日曜参観日を年3回実施するとともに，PTCレクや新たな企画等，保護者の学校教育への参画意識を高める工夫をする。	・保護者アンケート「保護者は，PTA活動（学校行事への参加を含む）などを通して教育活動の充実に努力している」肯定的評価の割合	80%	100%	125%	A			
		地域発信力の充実	・HP・学校だより・学年だより・保健だより（月1回以上の発信） ・メディア（新聞・TV）で「ひろみなみ」の魅力を伝える（3回）	・保護者アンケート「学校は地域への情報発信に努力している」肯定的評価	100%	100%	100%	A			

【k：評価】
A：100≦（目標達成）　B：80≦（ほぼ達成）＜100
C：60≦（もう少し）＜80　D：（できていない）＜60

様式3

平成29年8月24日

平成29年度　結果の分析及び今後の改善策

（ 中間・最終 ）

広南中学校区　校番　2　学校名　呉市立広南中学校

重点	d 中期（3年間）経営目標	e 短期（1年間）経営目標	l 結果の分析（結果と課題をこう考えます）	m 今後の改善策（案）（こう改善します（案））
★★★	（貫）義務教育9年間を見通した学力を育成する	「課題発見・解決学習」を手がかりとした授業改善	教科，総合での挑戦問題の設定やSルーブリックの活用，7つの資質・能力を意識した授業展開や評価を行うことで，目標を達成することができた。特に，「授業では，友達と話し合うなどして，自分の考えを深めたり，広げたりしています」の項目では肯定的評価が100%を示しており，「協力・協働」の資質・能力の向上が見られる。また「挑戦・探究」に関する項目でも90%以上の肯定的評価を得ている。しかし，学年別の結果では，いくつかの項目で未達成のものがあるので，重点課題を設定して取り組んでいく必要がある。	各教科では引き続き，授業の「めあて」とその評価のためのS基準（Sルーブリック）を生徒と共有することで，めざす姿を明確にした授業を行っていく。また，必要な情報を自分で収集し，それを生かせる場面を設定した「予習課題」を意識した授業構成を図ることにより「予習」に関する項目や「家で本や資料を利用した学習」の項目の向上を図るとともに，「貫きカリキュラム」による開発単元のブラッシュアップにも取り組んでいく。
		読書活動の充実	読書貯金を継続し，毎月1冊以上の読書を目標とさせ，読書活動に取り組ませているが，家族や友だちと読書について会話をしたりする機会が少ない。また，家で本を読んで学習をする機会自体が少ない現状である。	授業での，ブックトークを充実させ，生徒同士の読書に関する交流を促す。また，国語だけでなく，各教科での課題について，家で調べてくる課題を設定するよう呼びかける。
★★	礼節と思いやりを誇り，体力づくりに主体的に取組む生徒を育成する	相手を大切にする礼節を誇る学園の校風の確立	生徒の自己評価は高い。しかし教師の評価とは一致していないためこのような結果となっている。自分に厳しい生徒と比較的甘く考えている生徒がおり，自己評価について正当に考えられるように指導していく必要がある。	・ルーブリックの質問項目について検討する必要もあるが，2学期初めまでに必要に応じて担任と生徒で個人面談を行い，改善点を伝えていきたい。
		体力の向上	今回は自分で目標を設定し，目標を達成するための取組についてそれぞれが考えた。その取組ついてしっかり振り返りができた。取り組み自体は今後につながるやり方でである。結果も自体も昨年度より上がっている生徒は多かった。しかし，個人で目標設定したため設定が高すぎて，結果的にクリアできていない生徒もいた。	・後期の測定時には自分の能力・成長をを考えて，目標の見直しをするよう自分で判断させ，目標設定をさせたい。
		挑戦心の高揚	落語やビブリオトーク，高校説明会などの生徒発表の場において，学年での声かけを積極的に行ったり，アドバイスをしたりしたことで，生徒の挑戦心を高めるのに効果があったと考える。その効果があり，2年生の起業企画では，リーダーに立候補する生徒が多かった。また，いじめ撲滅標語や球技大会などで生徒の頑張りを表彰をする場面を積極的に設定することにより，挑戦心の向上につながったと考える。資格取得については，国語科だけでなく，各担任の呼びかけもあり，漢字検定受検者数が，昨年の同時期と比較して2倍になっており，資格取得に積極的である。	・生徒に挑戦させる場面を設定するとともに，挑戦したことを褒めたり，励ましたりする指導を学年で連携しながら進めていく。 ・生徒に挑戦することの意義を伝えるとともに，英検，数検への受検に挑戦するように呼びかける。
★	（貫）地域に貢献し活力を生み出す学校をつくる	生徒の地域貢献の達成感	運動会では本番で地域の方へ感謝の気持ちを表すために精一杯の取組，せとうち海援隊では三角浜の清掃活動を行った。このような活動から，地域の方から肯定的な評価をもらうことで，生徒の達成感が高まっており，高い評価につながっている。	生徒が地域についての学習をさらに深め，+1 ACTIONとして生徒自身が自主的に行う，地域貢献の在り方を生徒会執行部を中心に生徒と考えていきたい。
		PTAの参加の機会の充実	本年度も，PTA総会及び第1回参観日を休日開催とし，保護者の出席率の向上を図るとともに，教職員と保護者の初の顔合わせであるPTA総会の内容の充実を図った。次いで，7月8日（土）には，授業参観と広南寄席を開催し，保護者・地域の多数の参加を得た。今後，11月5日（日）に，県教委の施策「学校へ行こう週間」に併せ，道徳の授業参観，入試改革の認識や家庭学習の定着に向けた学校説明会，さらに，生徒・保護者・教職員の絆を深めるべく，「PTCレクリエーション」を開催予定である。	・参観日や行事の休日開催について，保護者アンケート等から肯定的な意見が多い。2学期以降は，参加人数の向上のみならず，保護者の学校運営に対する参画意識の高揚を図るための具体的な取組を考える必要がある。
		地域発信力の充実	学校だより，保健だよりは月1回程度，学年通信は月1回以上発行できた。また，HP・安心ネットは月2回以上更新し，閲覧率も向上した。このような意欲的な情報発信が功を奏し，1学期末保護者アンケートの肯定的評価も100%という結果が出た。一方，メディアでは，5月の中国新聞に，第2学年の起業企画に向けて，起業家と県中山間地域振興課長を招き，起業の苦労や工夫を学んだ記事が2回に渡り掲載され，本校の教育活動を広く情報発信することができた。	・今後も，各種たよりの定期的且つ意欲的な発行と，HPでは，学校行事での生徒の様子を写真等を多用して閲覧率の向上を図るとともに，地域発信力の充実を図る。また，メディアにおいても，様々な行事に際して，新聞社等との密なる連携を図り，保護者・地域の学校教育に対する理解の深化を図る。

様式４

平成29年10月6日

平成29年度　　学校関係者評価及び改善策

（ 中間・最終 ）

広南中学校区　校番　２　学校名　呉市立広南中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標，指標の設定の適切さ	A	○小中一貫教育校として，小学校と連携した目標（指標）を掲げている点や生徒実態を的確に把握し，小学校への乗り入れ授業や授業研究等による意欲的な授業改善や情報発信の充実と地域人材の活用等，保護者・地域との密なる連携と協働を意識した目標設定は高く評価できる。
目標達成のための方策の適切さ	A	○生徒の主体的な学びや思考・表現力の向上に向けて，各教科の授業研究はもとより，授業カンファレンスの実施，さらに，読書活動の活性化と表現力の向上を兼ねた「ビブリオトーク」の継続やマネジメントサイクルでの実施・見直しは高く評価できる。 ○挑戦心の高揚に向けて，各種検定の受検や様々な大会への出品，さらに，郷土愛や自己効力感の高揚に向けて，総合的な学習の時間での地域貢献活動や放課後及び長期休業中を利用したボランティア活動（せとうち海援隊清掃活動）の充実等の方策も適切である。
自己評価の結果と分析の適切さ	A	○各項目において，各種アンケートや学力調査を基にした詳細且つ妥当性・客観性のある分析がなされており，先生方の教育に対する熱意を感じる。
今後の改善策（案）の適切さ	A	○具体的な改善策が考えられ，適切である。今後も，学校の取組や成果と課題及び改善策を，保護者・地域により一層情報発信し，学校に対する協力体制の強化を図ってほしい。
その他	○授業前の黙想に始まり，授業中の落ち着きや学習態度・姿勢の良さが素晴らしい。また，指導者の授業のめあての明確化等，的確な指導で雰囲気よく授業が進められていた。 ○落語を級友や人前で表現したり，起業企画にかかわり，起業家から学んだり，様々な取組を考え人前で説明や宣伝したりして情報収集力・思考力・表現力等が高まっているように思う。社会に出てからもコミュニケーション能力は重要で，今後も「総合的な学習の時間」等の充実をより一層図ってほしい。 ○日本文化の理解と継承や文化芸術による子供の育成事業を活用した「日本舞踊」鑑賞や所作の学習も豊かな感性の育成に重要である。また，文化活動部を中心とした「戦跡調査」も高く評価できる。「平和学習」として，その調査結果を広く発信してほしい。	

※　評価は，A（とても適切），B（概ね適切），C（あまり適切でない），D（まったく適切でない），N（分からない）

学校関係者評価を受けての今後の改善策	○全教科で「習得・活用・挑戦と探究」を常に意識し，ICTの有効活用等，教材・教具の開発や指導方法・授業展開の工夫改善を図る。 ○「学びの変革」パイロット校として，その研究成果をHP等を通して情報発信し，他校への普及を図る。 ○授業中の言語活動の充実に向け，小中で協働して取り組む。 ○「総合的な学習の時間」を活用し，第1学年では，「落語」の習得・活用を通して挑戦心・表現力の育成とともに，人を楽しませる喜びを通して自己効力感の向上を，第2学年では，「起業プロジェクト」の取組を通して職業観や挑戦心，地域への貢献心の育成を，第3学年では，戦争の悲惨さや平和の尊さを提言する「創作劇」を通して表現力の育成や社会の担い手としての挑戦心・使命感の育成を図る。また，それらの取組を文化発表会で保護者や地域に披露することで，本校の教育活動に対するより一層の理解と協力を得る。 ○保護者・地域の本校教育活動の理解の深化に向けて，学校行事への参加率の向上を目指し，休日参観の増加や生徒・保護者・教職員の絆を深めるためのPTCレクリエーション等，魅力ある学校行事の創造を図る。また，それらの行事や学校生活の様子を学校・学年・保健だよりの発行やホームページ及びメール配信を通して意欲的に家庭・地域へ発信し，学校教育への協働意識の向上を図る。